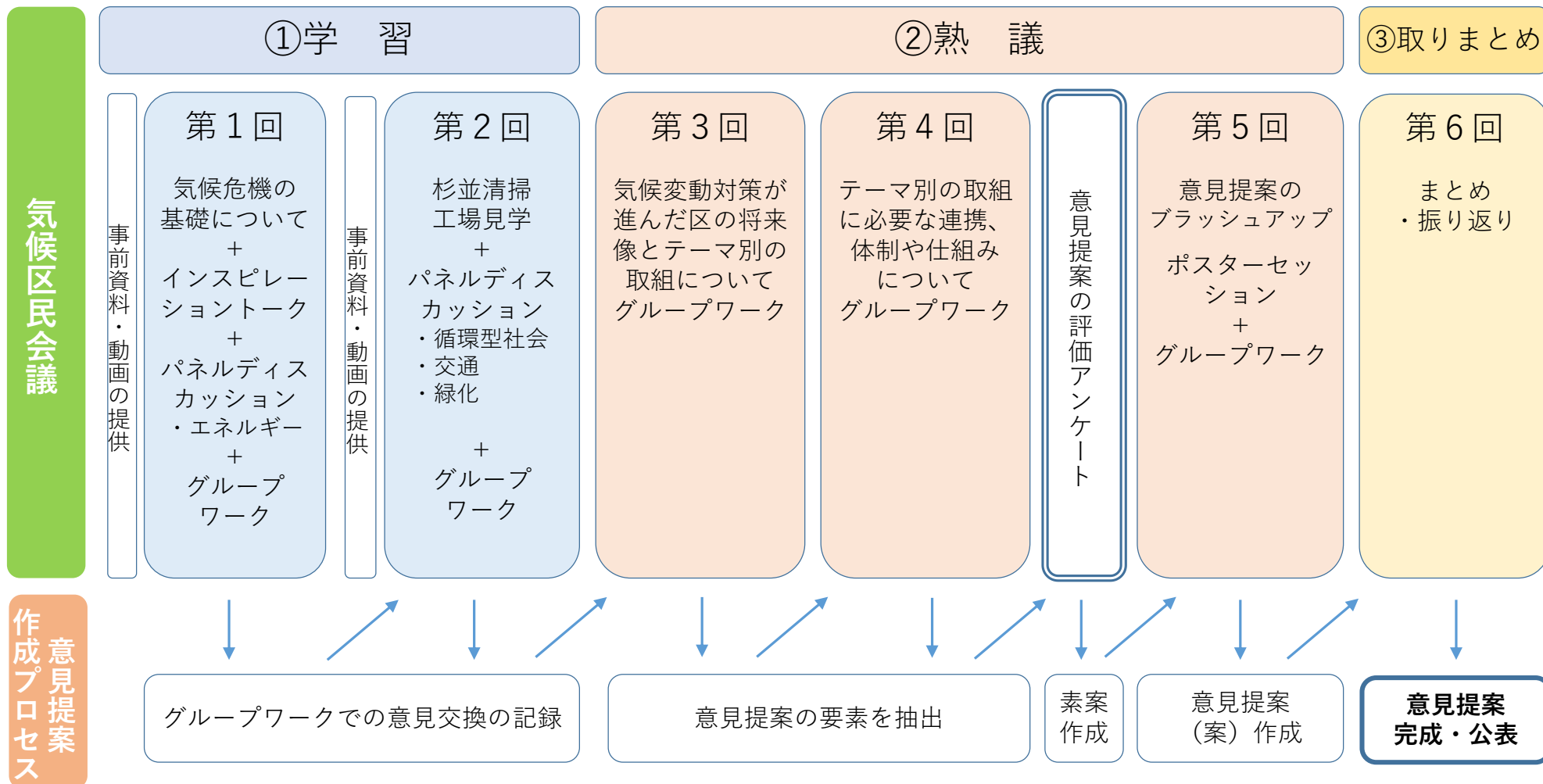


気候区民会議プログラム（案）

- 会議の構成は、①学習から②熟議、③意見提案の取りまとめまでを3つのステップで進行する。
- 前半の2回を学習期間とすることで、後半3回の熟議までに参加者が日常生活の中で噛み砕いて理解する時間を設ける。
- 会議で取り扱うテーマは、地球温暖化対策実行計画の緩和策に合わせて「エネルギー」、「交通」、「緑化」、「循環型社会」とする。
※環境教育は単独のテーマでは扱わずに、対策の普及・教育という横断的な論点として上記テーマの学習の際に扱う。
- 第4回終了後、議論した意見提案について評価アンケートを実施して素案を作成し、第5回・第6回で意見提案を仕上げていく。



第1回・第2回／学習

○気候変動対策に関する総論についての講演と、各テーマ（エネルギー、交通、緑化、循環型社会）別のパネルを行う。

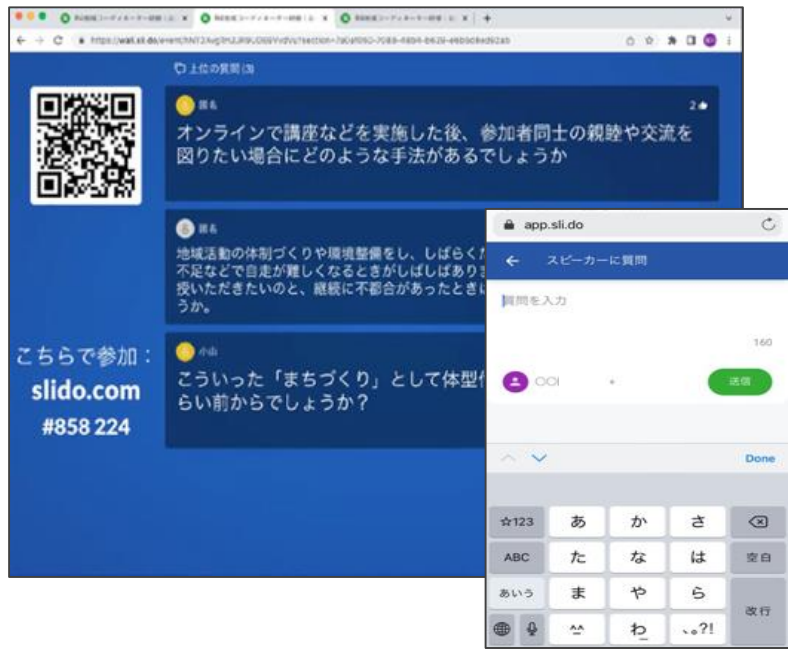
○パネルディスカッションでは学識者や事業者、団体職員、区職員等の3～4名が、情報提供や意見討論、参加者からの質疑を行う。

		主な情報提供の内容	主な登壇者（敬称略）
第1回	総論	<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動対策に自治体に取り組む意義 ○気候区民会議の意義 ○地域・世代間公正の視点や考え方 	江守 正多（東京大学未来ビジョン研究センター教授） 三上 直之（名古屋大学大学院環境学研究科教授） 芝崎 瑞穂（Change Our Next Decade代表理事）
	エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ○どうやって家庭の脱炭素を実現できるのか（屋根置き太陽光パネル、断熱リフォーム、ZEH普及など） ○脱炭素に向けた事業者の取組 ○生活の質（快適性）を維持しつつ省エネを進める方策 ○区の支援（再エネ導入助成等） 	高木 直樹（信州大学工学部建築学科名誉教授） 中垣 藍子（JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター） 株式会社細田工務店（ZEHビルダー登録事業者） 杉並区環境部温暖化対策担当
第2回	交通	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通などの環境負荷が小さい交通体系の構築 ○新たなモビリティ（グリーンスローモビリティ、シェアサイクルなど）の導入 ○区における自転車活用の意義と課題 	三重野 真代（東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット特任教授） 古倉 宗治（自転車駐車場整備センター自転車総合研究所所長） 杉並区都市整備部交通施策担当
	緑化	<ul style="list-style-type: none"> ○緩和策と適応策の両面に効果があるグリーンインフラの実効性（治水、防災・減災機能）や整備の現状 ○区における緑の保全策や課題 	調整中
	循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロスやプラスチック削減の現状と課題 ○カーボンフットプリント ○区内小売事業者の活動紹介 ○3Rの推進、ごみの分別 	調整中 杉並区環境部ごみ減量対策課

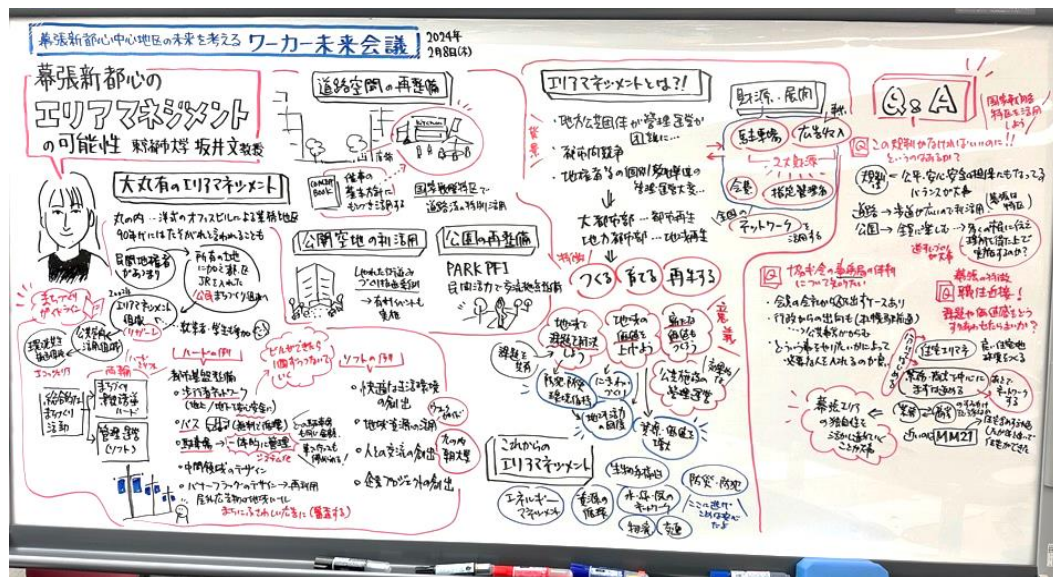
第1回・第2回／学習

○情報提供の機会が第1回・第2回に限られることから、「学び」と「気づき」の提供をより充実させるため、以下の事項に取り組む。

- (1) 事前に基礎的な情報を得られるよう参考動画や資料を提供する。
- (2) 質疑応答のプラットフォームツールにより、開催後のアンケートのほか随時参加者からの質問に回答する。
- (3) 参加者の希望や必要性に応じてオンラインでの補足情報提供の機会を設ける。
- (4) グラフィックレコーディングを用いて各情報提供を見える化し、振り返りや復習に活用する。



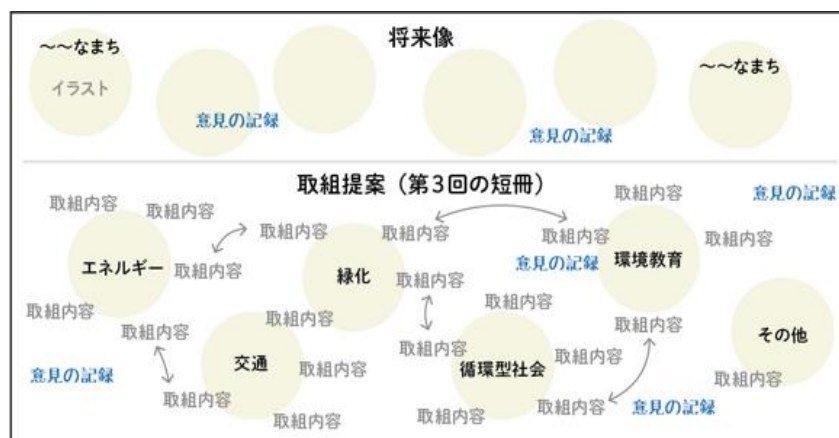
質疑応答用プラットフォーム



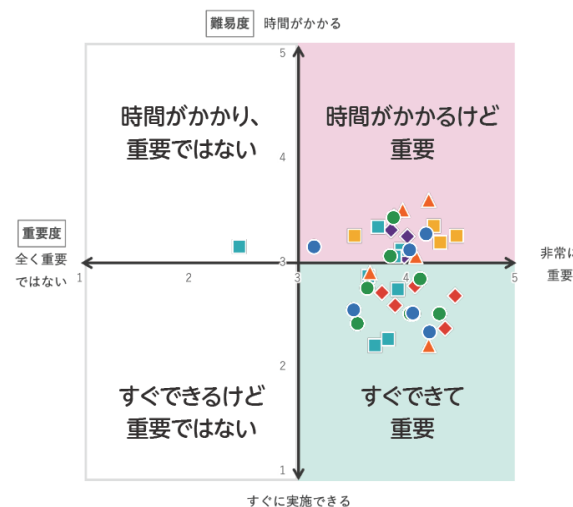
グラフィックレコーディング

第3回・第4回・第5回／熟議 第6回／取りまとめ

主なプログラムの内容	
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動対策が進んだ杉並区のまちの将来像を考える。 ○4つのテーマ（エネルギー、交通、緑化、循環型社会）に分かれて、将来像を実現するために必要な取組を出し合う。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ○第3回で考えた将来像とテーマごとの取組のまとめをもとに、全体像を確認（下図「将来像と取組の全体像の確認イメージ」参照）して足りない視点等を追加する。 ○全体の取組を進めるために必要な連携、体制や仕組みを考える。
評価アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○オンラインフォームで中間アンケートを実施し、これまで議論した将来像やテーマごとの取組について評価する。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ○評価アンケートの結果（下図「評価アンケートの結果（多摩市気候市民会議）参照」と意見提案の素案を確認し、素案についての感想や意見、疑問点を出し合うポスターセッションを行い、改めてテーマ別のグループでテーマ別の提案をよりよくするための議論を行う。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ○意見提案（案）の最終確認を行う。 ○会議を振り返り、提案内容を踏まえて個人としてできることを考える。



将来像と取組の全体像の確認イメージ



評価アンケートの結果（多摩市気候市民会議）

シンポジウム

- 会議の報告に留まらず、広く区民や様々なステークホルダーを巻き込み、機運を高めて取組を拡大・加速化していく機会とする。
- 二部制とし、第一部では基調講演と鼎談により、気候区民会議に参加していない区民やステークホルダーに向けて、気候区民会議の意義やねらい、今後の可能性について解説する。
第二部は、気候区民会議の代表者から会議の報告と意見提案の紹介を行った後、区職員を含む様々なステークホルダーによるパネルディスカッションを通じ、意見提案の可能性や越えるべき課題について議論する。

主なプログラム	登壇者
基調講演：脱炭素社会の実現に向けて区民ができること	調整中
鼎談：気候区民会議の可能性	
気候区民会議の実施報告と意見提案の発表	気候区民会議の参加者代表
パネルディスカッション	調整中
	区職員